

内定者の声

令和4年度
環境省総合職事務系内定者

目次

1. 内定者統計	3
2. 内定者プロフィール	6
3. 試験対策	23
4. 官庁訪問	35
5. 座談会	46



ムナグロ

内定者統計

銚子大滝

十和田八幡平国立公園に位置し、
十和田湖から奥入瀬溪流へと繋がる道にある滝のひとつ
青森県十和田市にて撮影



基本情報

最終学歴

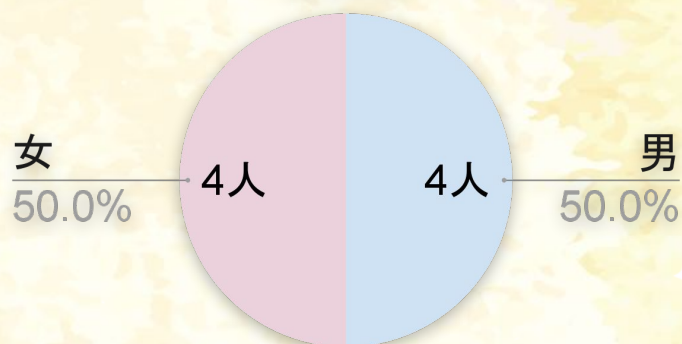
- ・ 上智大学
- ・ 慶應大学
- ・ 東京大学
- ・ 中央大学大学院
- ・ 一橋大学大学院
- ・ 東京大学大学院

出身地

- ・ 東京都
- ・ 埼玉県
- ・ 京都府
- ・ 広島県
- ・ 兵庫県
- ・ 宮城県
- ・ 神奈川県

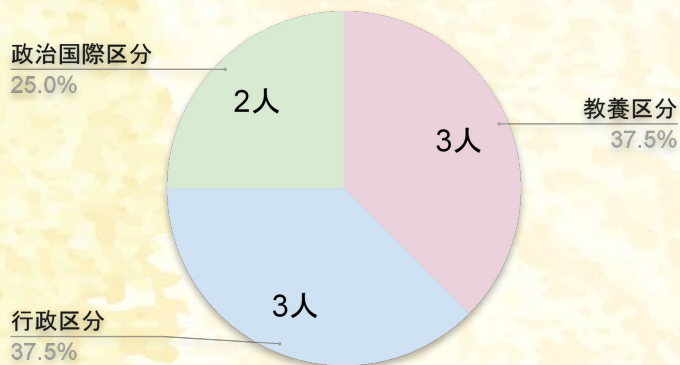
今年は全員東京の大学の出身ですが、例年は全国の大学から内定者がでています！

男女比

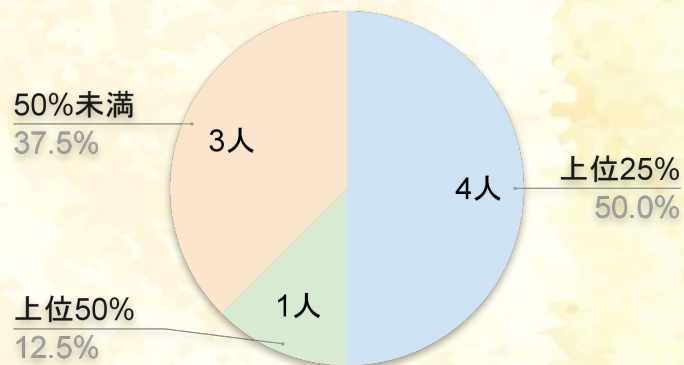


公務員試験

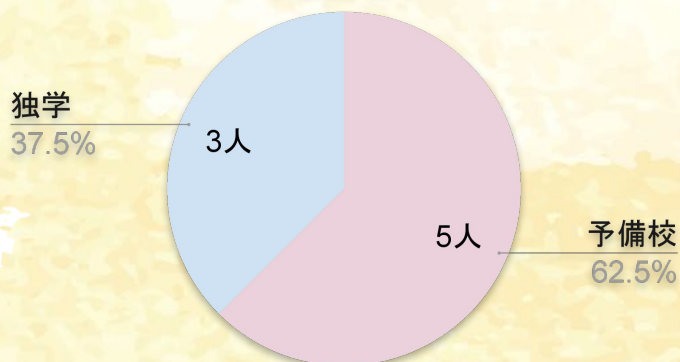
受験区分



席次



予備校/独学



政策論文と官庁訪問に絞って、予備校で準備をした方もいたようです。

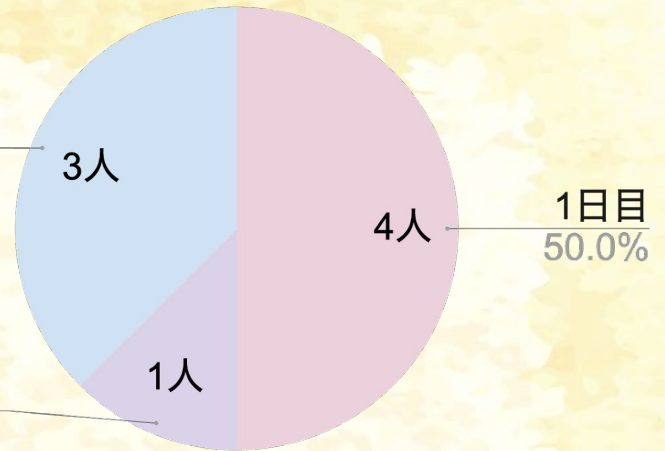
官庁訪問

今年の官庁訪問は志望者が多かったため、2日目訪問を希望したものの、3日目に変更になった人もいました。

3日目
37.5%

2日目
12.5%

訪問日

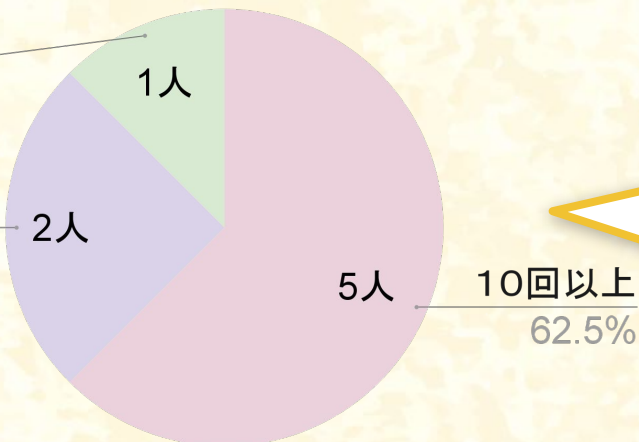


説明会 参加回数

行っていない
12.5%

5回以上
25.0%

説明会参加回数



説明会にたくさん参加することで、環境省の政策を様々な視点から深められそうです！

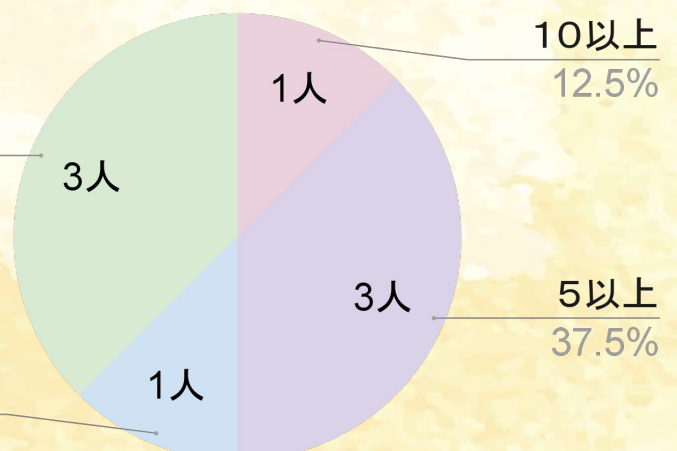
民間企業 併願数

民間就活と両立させている人、公務員就活一本に絞っている人、スタイルはそれぞれです！

なし
37.5%

1以上
12.5%

民間企業併願数



内定者プロフィール

ヨナグニウマ
与那国島にて撮影



#教養区分

#独学

#民間就活

#過年度

#体育会

カンガルー ♂

出身地

神奈川県

出身大学東京大学
法学部第1類**サークル/ゼミ**軟式野球部
現代外交**趣味**旅行
読書
トレーニング**好きな小説**ナナメの夕暮れ/
陰日向に咲く
(ナナメの夕暮れは
官庁訪問前日にも読
みました)**好きな場所**カフェ
みなとみらい**官庁訪問の訪問先**

環境省・厚生労働省

官庁以外の志望業界

コンサル(公共部門)、人材、生命保険

就活の軸

- ・ある存在が抱える、その存在自身では乗り越えられない困難への問題意識
- ・環境問題以外には貧困問題等

学生時代に力を入れたことは？

軟式野球部での活動に熱中していました。中高と軟式野球を続けていたのですが、高校時代よりもレベルの高い環境だったので、1年生の頃から自主練やトレーニングにも積極的に参加し、必死に実力を高めようとしていました。2年生の秋からはチームの主将として、最大限監督のサポートをするとともに、いかに効率的でかつ意義のある練習を進めていくか、日々考えていました。最後の大会がコロナ禍で中止になったことを含め沢山後悔はありますが、今となってはやりきったなと感じています。

国家公務員/
環境省の
志望動機

「困っている存在の力になりたい」と考えた時、民間のサービスだけでは捕捉できない存在に思い至り、公務員を漠然と志しました。一方で試験を申し込んだ時点では就活の軸を全く整理できておらず、民間就活がコロナの煽りを受けて厳しい状況にあると言われていたので、少しでも選択肢を増やしておこうと思った、というくらいでした。人物試験対策をする過程で徐々に国家公務員への想いが強まっていった、という形です。その上で、環境問題については「企業、地方自治体、そして国民一人一人の力全てを合わせていかなければならない」という想いがあったので、行政の場でそれぞれの立場の方のことを考えて政策立案がしたい、と考えて環境省を志望するに至りました。

環境問題
に興味・
関心をもっ
たきっかけ
は？

はじまりは、小学生の時にテレビで観たホッキョクグマのCMでした。(氷が溶けて、ホッキョクグマの住む場所が奪われている、というもの) 幼心にホッキョクグマがかわいそうだという想いがあり、それ以来身の回りのできる省エネの取り組みを始めました。一方で明々とした街を見るたびに、家でできる省エネが本当に微々たるものであり、また自分だけが取り組んでもそれほど効果がないのではないかと、という無力感を抱いていた覚えがあります。

その後時間が経つにつれて私はそのような問題意識を持ち続けることはできず、結局環境に関する勉強やボランティア活動などはしてきませんでした。しかし、就職活動において漠然と「困っている存在の力になりたい」という想いにたどりついた時、自身が幼少期に抱いていた上記の問題意識を思い出し、環境問題に再び関心を持つに至りました。

環境省の
決め手
は？

まず、前述した自身の環境問題解決への想いを実現しうる場だと感じたからです。お話を伺う中で、職員の方が現場を大事にされ、企業・自治体・現場の国民の方々と積極的に関わりながら様々な検討を進められていることを強く感じました。そこで、環境省が環境問題解決のための

「All Japan」をまとめていく重要な立場にあると考え、この組織で働きたいと感じました。

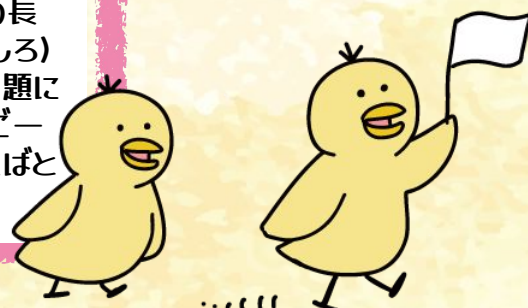
次に、組織や職員の方の雰囲気です。胸に熱い想いを秘めながら、学生には柔らかく接してくださる人柄、そして良い意味で遊びのある雰囲気が良いと感じたことも決め手になりました。

就職活動
で大変だっ
たことは？

自己分析が大変でした。私は自己分析が就職活動の中で一、二を争うくらい大事なものだと考えていますが、そもそも自分のこれまでの人生と向き合うことは(自分自身の嫌な部分や後悔のある経験などにも目を向けなければならないため)簡単ではなく、また正解がないという性質上、精神的・時間的に非常に負担のかかるものでした。皆さんは既に始められているかもしれませんが、まだの方もとにかく早めに始めることを大事にしてください。その上で、周りの人の意見も勇気を出して積極的に聞いてみることで、そして余裕があれば一度結論が出てアップデートし続けることを意識してやってみてください！

環境省志望者へのメッセージ

私は4年生時に就職活動へ全力投球できず、一年卒業が遅れました。しかし今回光栄にも環境省からご縁をいただき、最終的にはこの就職活動全体が貴重な経験になったと感じています。就職活動の中では沢山失敗もあるでしょうし、様々なプレッシャーが襲うこともあるかと思います。特に官庁の就職活動は長丁場で孤独になりがちかもしれません。ゆえに、ぜひ一緒に戦う友人や頼れる大人の方(家族や大学の職員の方など)を見つけて、長丁場を乗り切る糧としてみてください。この長丁場を乗り切った経験が、(官庁に進むにしろ進まないにしろ)きっと皆さんに何かを与えてくれると信じています。環境問題に少しでも関心を持ってくださっている(?)皆さんとどこかで一緒にできることを楽しみにしていますし、それが環境省であればとても嬉しく思います。



政治国際区分

人文学系専攻

ほぼ独学

ナナフシ ♀

出身地

兵庫県

出身大学

東京大学
教養学部
文化人類学

サークル/ゼミ

環境団体
生物愛好会

趣味

自然観察
パステル画

好きな映画

かぐや姫の
物語

好きな場所

コイン
ランドリー



官庁訪問の訪問先

環境省・経済産業省・農林水産省

官庁以外の志望業界

ほぼなし

就活の軸

・環境問題に関
わりたい
・インターンの
印象

学生時代
に力を入れ
たことは？

環境と自然を軸にいろいろしてました。環境人類学をテーマに卒論を書いたり、サークルで環境教育をしたり、越境大気汚染を議題の一つにする国際学生会議に参加したり、自給自足生活を体験したり、様々な場所に行って野鳥を観察したりしていました。

国家公務員/
環境省の
志望動機

人と自然の豊かな共生社会の実現に貢献したいと思っていたなか、3年の春の環境省の説明会で、そのとき持っていた環境問題に関する疑問に心にすんと落ちる回答をもらい、志望の決意を固めました。

環境問題
に興味・
関心をもっ
たきっかけ
は？

高校生の頃留学したバージニアで、色とりどりの鳥や、広大な山や野原に魅せられ、自然に興味を持ちました。また新聞を読む中で、地球環境の危機を心配するようになりました。大学に入って、科学や政治、社会や倫理が複雑に混ざった環境問題に学問的な興味を持ち、環境問題と公益について考え始めました。

環境省の
決め手
は？

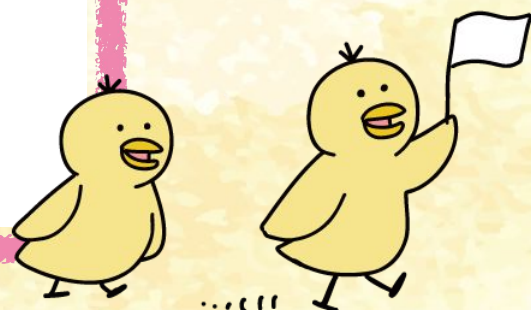
環境を軸にできる点で最初からほぼ環境省一本でした。ただ他省を訪問して話を聞くと悩むこともありました。そのなかで、官庁訪問で職員の方々が語る省のコンセプトやヴィジョンが自分の志望動機と合致しており、また環境省で働く上で不安に思っていたことを解消してくれたことが大きかったです。

就職活動
で大変だっ
たことは？

長期間ほぼ一人で就活していたためか、モチベーションの維持に苦労しました。考えすぎることも大切ですが、就活においてはとりあえず行動してみることが大切だと思います。考えすぎることは行動してからでもできますし、行動して初めて見えてくることもあると思います。

環境省志望者へのメッセージ

自分の未来を描いていく時だと思って、就活を前向きに楽しんでください。



#教養区分

#予備校

キツネ ♂

出身地

埼玉県

出身大学

慶応義塾大
学

サークル/ゼミ

カメラサーク
ル

趣味

登山
サッカー観戦

好きな映画

グランド・イ
リュージョン

好きな小説

蜜蜂と遠雷



官庁訪問の訪問先

環境省・農林水産省

官庁以外の志望業界

都庁

就活の軸

自然資源活用
と農村などの地
方創生

学生時代
に力を入れ
たことは？

資格勉強に力を入れていました。英語系の資格や法律系の資格を取るために2年、3年時に独学で勉強しており、無事合格できました。大学の授業で学んだことの成果として目に見える形のものが欲しいと思い勉強していましたが、英語の資格に関しては公務員試験にも役立ちました。

国家公務
員/
環境省の
志望動機

地方創生に興味があり、一つの地域に深く携わるよりも国内を広く俯瞰してより多く活性化された地域を増やしていきたいと思い国家公務員を志望しました。環境省を志望した理由としては特に地域資源の中でも自然資源に興味があったことや単純に自然が好きだったことが大きいです。

環境問題
に興味・
関心をもっ
たきっかけ
は？

田んぼが周りに広がっているような農村地域で育ったことで漠然と興味はありましたが、大学に入り、旅行や登山をする機会が増えたことで関心を強く抱きました。

環境省の
決め手
は？

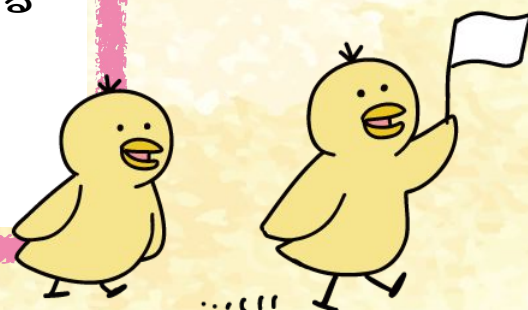
説明会や官庁訪問での職員の方々の雰囲気を見てとても風通しがよく、楽しく働けそうだなと思った点です。また環境省のヴィジョンや政策が自分の官庁訪問の軸にぴったりと合っていたことも決め手です。

就職活動
で大変だっ
たことは？

公務員一本だったので周りの人より就活が終わるのが遅かった点が精神的にきつかったです。ダメだった場合の選択肢を事前に考えておくことが大事だと思います。

環境省志望者へのメッセージ

自分もそうでしたが、単純に自然が好きということが環境省に興味を抱いたきっかけでした。特別な知識やバックグラウンドは重要ではなく、自分の携わりたいことの軸とあっているかや自分の性に合っているかという点から考え、熱意を持つことが環境省を志望する上で大事なのかなと思います。



#行政区分

#予備校

#民間就活

リス

♀



出身地

東京都

出身大学

一橋大学国際
・公共政策大
学院

サークル/ゼミ

学園祭運営
スタッフ
公共政策研究
ゼミ

趣味

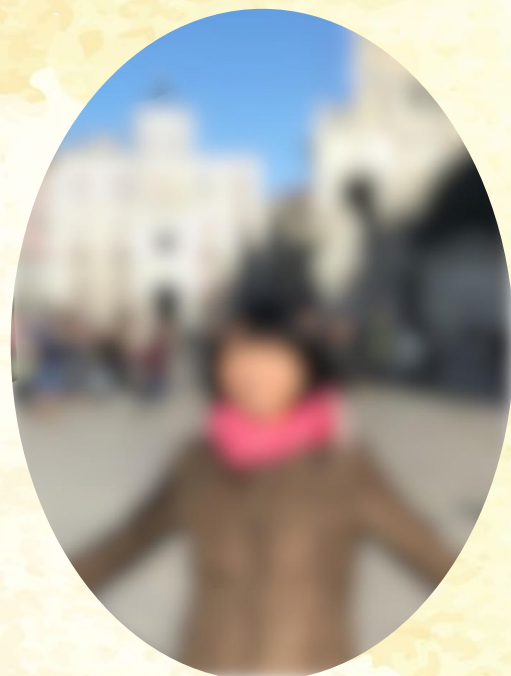
テニス
ドラマ鑑賞
森林浴

好きな小説

2050年は江
戸時代

好きな言葉

my life is
my
message



官庁訪問の訪問先

環境省・農林水産省・金融庁

官庁以外の志望業界

環境系シンクタンク/環境系ベンチャー企業/人材コンサル

就活の軸

- ・ 持続可能な社会を創ること
- ・ 環境に関われること

学生時代に力を入れたことは？

大学でのサークルである学園祭運営スタッフの活動において、学園祭のごみ処理や美化活動などの環境対策を行っていました。その中でも、ごみが新しく価値のあるものに生まれ変わることを知ってもらうために、飲食屋台から出る廃油を用いてキャンドルを制作する企画の立案・実行に力を入れていました。

国家公務員/
環境省の志望動機

大学での短期留学で自国をより良くするために勉強をしている海外の学生と交流することで、自分も日本の未来、特に持続可能な社会の実現を考えることができる仕事をしていきたいと思い、国家公務員を志望しました。特に、私が問題意識を持っていた環境問題に対し、人々のライフスタイルの変革という視点で関わっていきたくと考え環境省を志望しました。

環境問題
に興味・
関心をもっ
たきっかけ
は？

大学でのサークル活動でゴミ処理に関わったことや、卒業論文でプラスチックゴミ問題について研究したことを通じて、ゴミ問題やプラスチック問題を含めた環境問題と人々の行動に強い繋がりがあることを感じました。そして、環境問題に取り組むことは、人々の「あたりまえ」をよりよく、より新しくしていくことだと感じ、自分もそれに関わっていきたいと考えました。

環境省の
決め手
は？

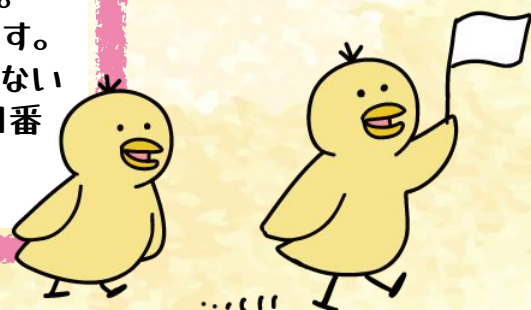
環境省の所管している業界が少ないという特徴があるからこそ、環境問題に取り組む上で必要な人々のライフスタイルの変革という大きな目標に向かって励んでいくことができると感じたからです。

就職活動
で大変だっ
たことは？

多くの企業の説明会や社会人の方と話すことで、自分が本当に何がしたいのか、自分自身の軸が分からなくなったということがありました。ただこのことは、納得した就活を行うために向き合わなくてはいけないことだと感じたので、ラフに話せる友達に話を聞いてもらったり、あえてあまり関係のない人にひたすら話を聞いてもらったりということなどを行うことで、自分の考えの整理を行いました。就活においても、人との繋がりには本当に大事なと感じたので、頼れる人、助け合える人を探してみてください！

環境省志望者へのメッセージ

私は、公務員試験の勉強を始めて3年目でようやく就職活動を終わりました。周りと比べてもかなりの時間がかかった方だと思います。ただ、この3年間で学んだこと、出会った人、自分自身について考えた時間は、かけがえのないもので、それらがあったからこそ、今があると思っています。だから、試験や官庁訪問を経て悩んでいる方は、悩んでいる時間も含めて大事にしてほしいと思います。就職活動は人それぞれです。正解なんてないと思います。いろいろ大変なことが多いかもしれませんが、悔いのない就職活動にしてください。しっかりやれば自分にとって1番いい方向に進めると思います。応援しています。



#行政区分

#予備校

#海外留学

#地方出身

ハリネズミ ♂



出身地

宮城県

出身大学

中央大学大
学院法学研
究科

サークル/ゼミ

放送研究会

趣味

読書

好きな旅行先

北海道

好きな場所

摩周湖



官庁訪問の訪問先

会計検査院・公正取引委員会・環境省

官庁以外の志望業界

国家一般職

就活の軸

なし

学生時代
に力を入れたことは？

約1年間のフランス留学です。国際法の勉強のために、フランスの大学に留学していました。特に、フランス語で国際法の用語を理解することが大変でした。また並行して語学学校にも通っていました。

国家公務員/
環境省の
志望動機

特定の誰かのためではなく様々な人のために働きたいと思い、国家公務員を志望していました。環境省の志望理由としてはもともと環境問題へ関心を持っており、環境省の説明会や官庁訪問に参加していく中で職員の方の価値観や省の理念に共感したからです。

環境問題
に興味・
関心をもっ
たきっかけ
は？

地方出身で自然の多い場所で育ったこと、東日本大震災で被災したことなどが主なきっかけです。また大学・大学院で国際法を勉強していく中で、環境に対する世界的な関心の高まりを感じたことも大きかったです。

環境省の
決め手
は？

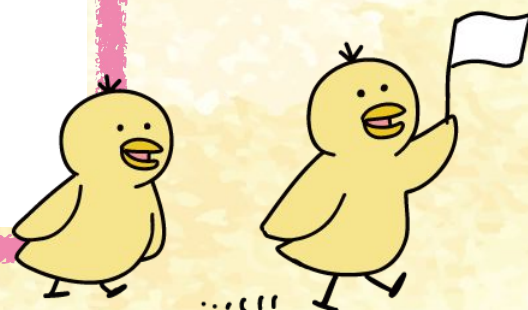
官庁訪問で様々な職員の方にお会いし、環境省の理念や価値観に共感したことです。

就職活動
で大変だっ
たことは？

公務員の就活は長いので、適度に息抜きすることが大切です。

環境省志望者へのメッセージ

就職活動において何が正解とかはないと思います。
ただ体調だけは気をつけましょう。



#行政区分

#独学

#海外留学

#民間就活

キジ ♂

出身地

埼玉県

出身大学

慶應大学・東京大学公共政策大学院

サークル/ゼミ

政策の因果推論

趣味

野球
将棋
旅行

好きな映画

風立ちぬ

好きな料理

アリナジック
(トルコ料理)



官庁訪問の訪問先

外務省・環境省・金融庁

官庁以外の志望業界

政府系機関

就活の軸

- ・パブリックセクター
- ・地球規模の課題に取り組むこと

学生時代に力を入れたことは？

面接でよく話していたのは、学部時代の雑誌製作の経験です。学生団体の仲間とチームを組んで社会課題の取材をしたり、色々な場所を訪問して写真を撮りながら半年から1年の期間で雑誌を制作していました。仲間と夜通し議論をして製作に打ち込んだ日々は今も印象に残っています。

国家公務員/
環境省の
志望動機

国家公務員になる志望動機は、よりよい社会を実現する政策作りに携わりたいという好奇心からでした。また、世界に誇れる日本を作っていきたいという気持ちもありました。その中で環境省を選んだ理由は、「環境」「持続可能性」が今後の日本と世界の将来を決定づけると考え、その点に強く惹かれたからです。

環境問題
に興味・
関心をもっ
たきっかけ
は？

正直、僕はほとんど環境問題に関心がなかった方の学生だと思います。ただ、学部時代のあるとき「本当に地球温暖化なんて起きているんだろうか？」と友人に話した丁度その頃、世界中で環境問題の啓発のためにデモを起こす人々をニュースで見たり、日本でもビジネスや政策の分野で環境問題の議論が熱を帯びているのを感じて、自分も真剣に向き合わなければならないなという意識が生まれたように思います。

環境省の
決め手
は？

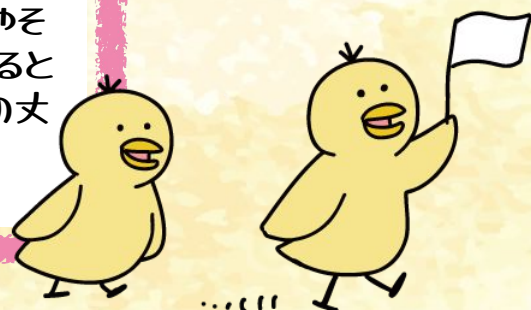
官庁訪問を通じて環境省の方々の人柄や雰囲気が自分に合ってるかもしれない、と感じられたことは大きな決め手でした。第一クールはオンラインでしたが、面接を重ねながらそうした思いに駆られたのは民間就活も含めて環境省だけでした。第二クールで実際にお会いして改めて気持ちを強めました。

就職活動
で大変だっ
たことは？

一つは面接という短い時間で、自分の人となりや考えを相手に理解してもらうことです。当たり前のことに聞こえますが、すごく難しいことだと痛感しました。あとは、オンラインならではの対面の面接で生まれる緊張感を作る難しさだったり、いまいち自分の雰囲気や人間性を伝えきれていないと感じるもどかしさもありました。

環境省志望者へのメッセージ

私は説明会等にはほとんど参加できないまま官庁訪問に臨んだ人です。そんな私がこうして今、内定者としていられるのは、職員の方々が他の志望者と同様に私をフラットにみてくださったからだと思います。環境省を志望するに至るまで、人それぞれ色々な背景があると思いますし、今まで説明会に何回参加した等は恐らく問題ではないです。それ以上に自分の考えやその背景を素直に伝えることが、面接では大事になると私は思います。是非、素直に自分の考えと思いの丈を話してみてください。



政治国際区分

#ほぼ独学

#海外留学

#地方出身

アフリカゾウ ♀



出身地

広島県
広島市

出身大学

上智大学
法学部

サークル/ゼミ

模擬国連/
行政環境法ゼミ

趣味

映画鑑賞/読書/
サイクリング/
スーパーボウル
すくい

好きな映画

Get Out、
The fault in
our stars、
孤狼の血

好きな言葉

可能性しかない。
勇気がなければ、
他のすべての資質は
意味をなさない。



官庁訪問の訪問先

外務省・環境省

官庁以外の志望業界

環境コンサル・エンタメ（ゲーム会社）

就活の軸

自分の人生をかけてその分野に貢献したいと思える、本当に働きたい場所

学生時代に力を入れたことは？

模擬国連サークルでの活動と後輩育成です。私は、大学で模擬国連サークルに参加しており、大学1年生から3年生にかけては全米大会へ派遣される日本代表団にも参加していました。模擬国連とは、国連などで開催された国際会議を模して、学生一人ひとりが1国の大使を担い、各国の国益と国際社会の未来をかけて、議題である国際問題に対する解決策を議論するという活動です。私はこの活動を通じて、国際問題に関する知識はもちろんのこと、利益がぶつかり合う議論における結論の導き方や交渉法、他国の立場に立って考える経験を積むことができました。とても有意義な学生生活でした！

国家公務員/
環境省の
志望動機

「広く国民のため日本のため、ひいては世界のために働きたい」と考え、国家公務員を志望しました。国家公務員はその名の通り国民に奉仕する仕事であり、その核となる理念は、広く「公益」のようなものになります。この部分に強い共感を覚えたため、私は「自分の人生をかけるのならこの職業しかない！」と感じました。

環境省を志望した理由は、純粋に環境法が大好きだったこと、環境問題に主体的に関われる職業じゃないと後悔すると感じたこと、そして環境という専門分野を持ちながら日本国内と世界の両方で活動できることの3点です。環境省は、まさに自分の持つ問題意識と理想の働き方が全て叶う場所だと考えています。

環境問題
に興味・
関心をもっ
たきっかけ
は？

中学生から高校生になる頃に、①地球温暖化の進展、②「大量生産・大量消費・大量廃棄物」の経済サイクルに埋め込まれた生活の2点に危機感を持ったことがきっかけです（ちなみに、後者のきっかけは高校の政治経済の授業で先生が行った問題提起によるものです）。これに加えて、不可逆的な環境の破壊を防ぎ、我々の享受した恩恵を後世へ残すことが、今の時代を生きる我々の使命であるとも感じています。この当事者意識も、私が環境問題に関心を持ち、それを人生の命題とするに至ったきっかけと言えるでしょう。

環境省の
決め手
は？

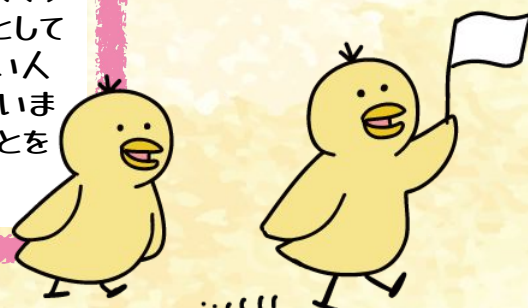
①とにかく環境法が大好きで、官庁訪問で聞いたお話全てにワクワクしたこと、②仕事と家庭の両立が比較的可能そうだったこと、③自分の描く理想の人生が実現できそうだったこと、の3点です。③について補足します。私は大学で環境法を専攻し、サークルでは国際問題や外交交渉について勉強していましたが、「仕事になればどちらかしか極めることはできない」と諦観していました。しかし、官庁訪問を通じて「環境省でなら環境問題と外交の両方を追求できる可能性がある！」と確信したことで、最終的に環境省に決めました。

就職活動
で大変だっ
たことは？

①民間就活との兼ね合いと、②試験を戦い抜くメンタルの維持です。私は2021年3月頃に「両立は無理だ」と感じて民間就活をやめました（内定は0です）。そもそも私は第1志望が国家公務員だったためにこのような決断を下しましたが、民間をやめて後に引けない状態になったからこそ、最後まで試験を頑張れた面もあると思います。また、②に関するアドバイスとして、なりたい自分像や標語を文字に起こして勉強机の前に貼ると、やる気の起爆剤になるのでおすすめです！

環境省志望者へのメッセージ

挑戦する前に諦めないでください。食欲に自分のやりたいことを追い求めてください。そして最後まで、これまでとこれからの自分を信じてください。これらは全て、私が就活中に意識してきたことです。就活における心持ちの一つの例として捉えていただくと幸いです。また、採用試験や官庁訪問を高い壁のように感じられる方もいるかもしれませんが、その高い壁を超える必要はありません。自分が通れるだけの穴を作り、そこをぐり抜ける努力をすればいいんです。そして、たとえ失敗したとしても、次も同じ結果となる訳ではありませんし、一度しかない人生なので、存分に夢を追って欲しいな、とも勝手ながら思います。それでは、近い将来、皆さまと仕事で一緒にできることを楽しみにしております！



#教養区分

#独学

#地方出身

#理系

ペリカン

♀



出身地

京都府
京都市

出身大学

東京大学
工学部

サークル/ゼミ

囲碁部

趣味

囲碁
ゴロゴロする
こと

好きな小説

京都寺町三
条のホームズ

好きなマンガ

暁のヨナ



官庁訪問の訪問先

環境省・経済産業省・文部科学省

官庁以外の志望業界

商社、電力、独立行政法人など。

就活の軸
気候変動や
技術開発への
貢献

学生時代
に力を入れた
ことは？

キャラクター雑貨店のアルバイトを1年半ほどしていました。レジやラッピングだけでなく、腕時計売り場の担当として、仕入れや陳列の裁量を任されていました。カタログを見て新品を積極的に仕入れたり、客層と年齢や身長が近いという自分の強みを生かして陳列の仕方を大きく変えたりなど、新人ながらも挑戦的に売り場づくりを行うことができ、とてもやりがいのある経験になりました。

国家公務員/
環境省の
志望動機

気候変動をはじめとした環境問題の解決に携わりたいと考えたときに、一番大きい役割を果たすのは、ルールメイキングや社会づくりを担う行政であると感じました。環境省では、グローバルな枠組み作りから、国家レベルでのルール作り、自治体レベルでの事例づくりまで、幅広いスケールで環境問題に取り組めることに魅力を感じ、志望しました。

環境問題
に興味・
関心をもっ
たきっかけ
は？

高校時代、大学の研究室を訪問して継続的に実験を行う機会があり、その時にたまたま配属されたのが地球環境学の研究室でした。理系か文系かを悩んでいた当時の私にとって、社会と科学が複雑に絡み合う環境という分野はとてもマッチしていると感じられました。また、今の穏やかな生活を続けたいと思う私にとって、環境問題はその生活を変えてしまう一番のリスクであると感じ、環境問題の解決に取り組みたいと考えました。

環境省の
決め手
は？

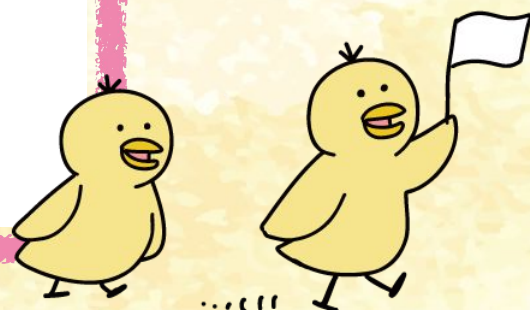
私はもともと一つの組織で長く働きたいと考えていました。環境省では、政治や社会情勢は移り変わっていく中でも、環境を守るといふブレない軸を持てること、また職員の方の人柄がすばらしく、良好な人間関係を築けると感じたことから、長く働けると思い、決め手になりました。

就職活動
で大変だった
ことは？

官庁を第一志望と決めていましたが、面接慣れするために民間もいくつか受けました。しかし、ESの締め切りが3月末に集中したために書くのが忙しく、また志望度の低さからか1社を除いてすべて落ちたので、精神的にもつらかったです。官庁を第一志望と決めている人は、民間はある程度割り切って考えた方がいいと思います。

環境省志望者へのメッセージ

いろんなバックグラウンドを持った職員の方がいるのに、人柄の良さは環境省が一番だと思います！就職活動はしんどくなることもあります、妥協せずにベストの選択をしてほしいです！



試験対策

キアゲハ
埼玉県飯能市多峯主山にて撮影



教養区分（大卒）

キツネ	(2020年度	席次130台/163人中)
ペリカン	(2020年度	席次30台/163人中)
カンガルー	(2020年度	席次140台/163人中)

勉強スケジュール



キツネ

2020年4月

8月

11月初旬

11月

1次試験対策開始
(数的処理のみ)

1次試験対策開始
(数的処理以外)

2次試験
対策開始

本番



ペリカン

2020年7月下旬

10月

11月

1次試験対策開始

2次試験
対策開始

本番



カンガルー

2020年8月上旬

10月

11月

1次試験対策開始

2次試験
対策開始

本番

1次試験の勉強方法は？



キツネ

数的処理は問題形式に慣れるためにひたすら問題を解いていました。また自分の得意な分野を探し、そこは確実に正解できるように意識していました。自分は文系で物理は高校の段階でそこまでやっていなかったため人文科学や時事問題対策を中心にやっていました。人文科学は大学受験でかなり勉強したので思い出すためにテキストを流し読みしていました。時事問題も購入したテキストを読み込みました。論文対策としては論文の構成の仕方を予備校のテキストなどから覚えることをしていました。

1次試験の勉強方法は？



ペリカン

基礎能力試験は、知能分野を中心に、過去問をひたすら解きました。特に判断・数的推理はスピード勝負なので、形式に慣れた後は、一問3分以内に解けるよう常に時間を意識して練習していました。知識分野は範囲が膨大なので、自然科学や人文科学はセンター試験の時の記憶を信じることにし、あまり勉強しませんでした。社会科学は、高校や大学で勉強したことがなかったので、伸びしろが大きいと考え、過去問を解きながらまとめノートを作ったり、時事の参考書を買って目を通したりなどの対策をしました。政策論文は、過去問を3年分ほど解いて、友人に見てもらいました。政策論文は文量が多いので、論の構成をしっかりと決め、だらだらした文章にならないように気を付けました。



カンガルー

過去問集でひたすら過去問を解き進めた。加えて世界史は大学受験時に使っていた教科書を一周し、時事は市販の参考書を買って勉強した。数的/判断推理は必要に応じて過去問を使って補強した。日本史・思想・生物/地学など、自身が大学受験時に使用していなかった科目については、ほとんど勉強せず、自身が大学受験時に使用していた科目の得点を最大化できるようにした。

1次試験の直前期にしていたことは？



キツネ

ニュースなどを見て時事問題の山はりをしていました。



ペリカン

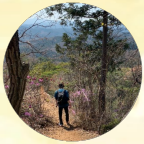
判断・数的推理のスピードがまだまだだったので、繰り返し解いてスピードアップを図っていました。また、時事の参考書を読み返したり、社会科学のまとめノートを見返したりもしていました。



カンガルー

世界史の教科書読み込みと時事の再確認、本番の時間配分を意識した演習を行った。

2次試験の勉強方法は？



キツネ

教養試験の二次試験は人事院面接と政策課題討議試験と企画提案試験だったので企画提案試験以外の二つは後ろの項目に譲ります。企画提案試験は事前に資料が発表されます。自分はその資料を軽く読んでテーマごとにどのような問題が出題されるかを予想して、それぞれ予想した問題に対して政策を二、三個ずつ考えてワードにまとめていました。また、それらの政策を公務員志望の友人に見てもらい、政策に対して細かい部分まで質問してもらい、答えられるようにしました。政策を考えるにあたっては外国の事例なども参照していました。



ペリカン

企画提案の準備を中心に行いました。指定された白書を読み、そのテーマから試験の課題を予想して、提案を書きました。友人と見せ合ってブラッシュアップしたほか、その提案の短所など、質問されそうなことに関して回答を準備しました。また、当日に資料がなくても書けるように、提案内容や関連するデータの概要などを頭に入れておきました。



カンガルー

企画提案試験…与えられた白書を読み込み、現状の課題と考えられる政策について友人と軽くディスカッションした。その後は個人作業で、現在行われている政策を確認し、自分の提案がオリジナリティのあるものになるようにした。その上で先輩に依頼させていただき、想定される質問や提案の穴についてアドバイスをいただいた。

2次試験の直前期にしていたことは？



キツネ

他の区分と違い知識を詰め込む感じではなかったので面接シートを見直したり、企画提案試験対策として自分のまとめたノートを見返したりしていました。



ペリカン

面接できちんと答えられるよう、面接カードに書いたエピソードの詳細について紙に書きだしたり、企画提案のプレゼンのイメージトレーニングをしたりしていました。



カンガルー

企画提案試験の最終調整

政治・国際区分（大卒）

ナナフシ (2021年度 席次30台/154人中)
アフリカゾウ (2021年度 席次80台/154人中)

勉強スケジュール



ナナフシ

2021年2月

4月

5月

1次試験対策開始

1次本番
2次試験対策開始

2次本番



アフリカゾウ

2020年7月

2月下旬

4月

5月

1次試験対策開始

2次試験
対策開始

1次本番

2次本番

1次試験の勉強方法は？



ナナフシ

参考書を買って解いていました。基礎能力試験は判断推理・数的処理を朝一番に解いてパターンごとに解法を整理するようにし、暗記科目は他の勉強の息抜き感覚でうまくリフレッシュしながら解いていました。専門科目でわかりづらい部分は参考書に加えて入門書のようなものも読みました。



アフリカゾウ

①勉強日記をつける

試験日から逆算して、試験本番までの残り日数と勉強内容を整理し（②参照）、1日の時間割と目標の勉強時間を前日に決め、翌日はそのタスクを淡々とこなす...という日々を送っていました。また、同じノートに長期の勉強計画や本番での目標点数、日々の反省点や改善点をメモして都度見返すようにしていました。ちなみに、私は大量のノートにカレンダーやクリアファイルも付いている手帳を使っており、とても使い勝手が良かったのでおすすめです！

②科目を取捨選択して、抑えるべき科目の知識補充と問題演習を効率よくこなす。基礎科目では知能分野を、専門科目では必須分野を重点的に勉強しました。前者については過去問を周回した上で年度ごとに時間内で解く練習をしました。また、後者については予備校の映像授業を1日2,3個受講しながら同時に択一演習を進めました。

1次試験の直前期にしていたことは？



ナナフシ



アフリカゾウ

頻出テーマの確認

- ①基礎科目：時間制限の中で問題を取捨選択する練習をする
例) 過去問の数的処理・資料解釈のみを80分 (=1問5分) で解く→得点率や解き方の反省点をまとめる
- ②専門科目：暇な時に単語を芋づる式に連想する
- ③問題を解く順番を決め、その順番で制限時間内に安定した点数を取れるように過去問演習を繰り返す

2次試験の勉強方法は？



ナナフシ

過去問を見て解答を書くのに役立ちそうな本を読んでいた。出題レベルは大学の専門課程で学ぶ基本的な事項が中心とのことでしたが、自分は専攻と試験分野が違ったため、大学のシラバスで参考書や教科書に指定されている本なども参考にしました。政策論文は予備校を頼り、添削の単科講座を受講しました。



アフリカゾウ

- ①答案を構成する練習をする
択一の勉強で学んだ知識を自分の言葉で書き出し、回答を構成する練習をしました。例えば、ある設問に対して知っている知識を箇条書きなどで書き出し、記憶が不明瞭・忘れた箇所を調べて補充する→出揃った知識の要素を1500字ほどの文章として構築し、読み直して再度書き直す…といった具合です。
- ②論文を添削してもらう
試験を共に受ける友人に答案をみてもらい、言葉使いの癖を指摘してもらいました。ただし、あくまで読み手次第で指摘する箇所は違うと思うので、何人かに見てもらうことをおすすめします。

2次試験の直前期にしていたことは？



ナナフシ



アフリカゾウ

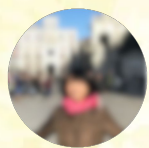
キーワードに従って白紙の状態から議論を説明できるようにしました。

- ①出題傾向と合格論文の骨子を学ぶ
- ②当日の時間配分を決める (私は本番で回答する科目を事前に決めていなかったため、当日どうやって絞るかなどを考えていました)

法律区分（院卒・行政）

リス (2021年度 席次30台/140人中)
ハリネズミ (2021年度 席次30台/140人中)

勉強スケジュール



リス

2018年4月

12月

2021年1月

4月

5月

1次試験対策開始

2次試験
対策開始

院卒試験後、
集中的に勉強開始

1次本番

2次本番



ハリネズミ

2020年4月

12月

4月

5月

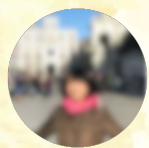
1次試験対策開始

本腰を入れる

1次本番
2次試験対策開始

2次本番

1次試験の勉強方法は？



リス

○専門科目

予備校の授業を受け、問題演習や模試の受験。

問題集：何度か繰り返し

まとめノート：間違えた箇所をまとめ、通学時間などに気軽に見返しができるようにしていました。

○基礎科目

文章理解：過去問演習

数的処理：毎日何問か解くことを繰り返し、問題の傾向や解き方のコツをつかんでいました。自分が得意な分野、苦手な分野の把握も行い、本番での時間配分の参考にしました。

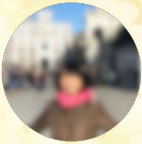
教養：時事は直前の2月ごろから参考書や新聞で勉強。教養の分野は、自分が取れそうな分野だけ勉強しました。（思想、地理、社会法系）



ハリネズミ

基本的に専門科目（法律系）に重点を置いて勉強していました。学部時代に民法・憲法・行政法は一通り勉強していましたが、忘れている箇所が多く、記憶を取り戻すことに注力していました。また実際の試験で出そうな細かな部分の確認も怠らないようにしていました。そのために、予備校の問題集を何周も解いていました。問題集をこなす中で自分が分かっていないところをその都度ノートにメモして復習していました。

1次試験の直前期にしていたことは？



リス

○専門

まとめノートの見返し

○基礎知識

文章：英語は毎日読むようにしていました。

数処：時間をかけて解くよりも、解き方の確認を短時間で行っていました

時事：ひたすら参考書を読んでいました。

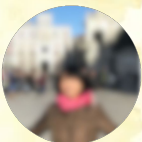
教養：暗記事項を頭にたたき入っていました。



ハリネズミ

問題集の復習と間違った問題の確認をしていました。

2次試験の勉強方法は？



リス

模範答案を読み、とにかく答案を書いてみて、添削を予備校の先生にお願いしていました。法学部ではなかったため、書き方に慣れることが大事だと感じました。

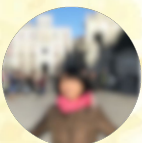
一次試験前までに、記述を書くために最低限必要な問答をまとめた問答集を作っていました。



ハリネズミ

一次試験の対策が二次試験対策に直結すると考えていました。そのため3月中旬ごろまで一次試験対策の問題集を使用した、知識の確認中心でした。3月下旬から二次試験の過去問を始めました。初めのうちは時間をあまり気にせず、正確な文章を書くように心がけていました。そのうち段々と時間を制限して、速く正確に書けるようにしていました。

2次試験の直前期にしていたことは？



リス

自分の解答の振り返り。問答集の暗記。

市販の参考書を買って、事例問題を頭に入れていました。



ハリネズミ

過去問を何回も復習していました。また今までの試験で出ていない論点などがいないかチェックしていました。

経済区分（院卒・行政）

キジ （2021年度 席次10台/140人中）

勉強スケジュール



キジ

2021年1月

1次試験対策開始

4月

1次本番
2次試験対策開始

5月

2次本番

1次試験の勉強方法は？



キジ

試験日から逆算して勉強スケジュールを立て、計画通りに勉強を進めるというシンプルなやり方です。どの科目も1周目（内容の理解）、2周目（内容の定着）という感じで参考書を最低2周はしたと思います。内容の深い理解が必要な科目（マクロ/ミクロ経済学等）と直前期の暗記が必要な科目（財政学・経済事情・経済史等）に分けて、前者はなるべく早くから取り組み、暗記科目は直前期を中心にやりました。

反省としては、経済理論の演習が十分にできず、本番の変化球な問題に上手く対応ができなかったことです。経済理論は時間をかけて深く理解をすることが重要かと思います。

1次試験の直前期にしていたことは？



キジ

直前期はマクロ/ミクロ経済学の演習もやっていましたが、大体の時間を暗記に使っていたように思います。

参考書は市販の過去問などを使用していました。

人事院面接（区分共通）

どんな対策をしていましたか？



キツネ

面接シートの内容を友人や家族に見せて、意見をもらい、その意見をもとに文章を推敲しました。また自分の書いたことにさらに加えて話せそうなことを考えるようにしました。自分はしませんでした。慣れるためにも民間の面接や予備校の模擬面接、友人と面接練習するなどしておく緊張はそこまでしないと思います。

面接カードの記載内容から、質問されそうなことを予想し、回答を考えておきました。面接カードを書く際には、質問を引き出すために、あえて漠然と書くようにするなどの工夫をしました。この時点では民間就活をしておらず、面接の経験がなかったので、聞かれたことにはきはきと答えられるよう、鏡の前で練習するなどしていました。



ペリカン



ナナフシ

去年合格した先輩にお願いして面接練習をしました。長くしゃべりすぎる癖があるなどのフィードバックをもらったり、想定質問を教えてもらったりしました。

①問答集の作成

Excelシートに問答集を作成し、想定される質問や回答内容の記入、それらのブラッシュアップをしていました。質問内容は、面接カードに記入した内容の深堀りや一般的な民間就職で聞かれることを元に作成し、「なぜ？」を突き詰める形で回答と質問を煮詰めました。面接当日もこのシートを印刷して持って行って見ていました！

②面接の練習

予備校の先生や大学の友人と一緒に模擬面接をしました。その際に、自分の喋り方や言い方のクセを指摘してもらい、都度修正するようにしていました。



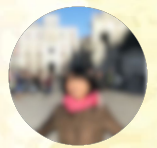
アフリカゾウ



カンガルー

先輩に面接練習と志望調書の添削をしていただきました。

民間企業の就活のときに行った自己分析は役立ちました。面接カードは大学院の教授や周りの友達に何度か見てもらいました。面接練習が大事だと思います。面接に慣れていることが、面接当日に面接官に、自分をしっかり表現できることに繋がると思います。民間就活での面接の経験はもちろん、人事院面接前は何度も大学院の教授、予備校の先生、周りの友達に面接練習をしてもらいました。この練習の際に、自分で録音しておき、後で聞き直し、良くなかったことや口癖の把握などに使っていました。



リス

面接カードを周りの人に見てもらい、変な文章がないか確認してもらいました。また自分の面接カードを見て、想定問答を考えて準備していました。



ハリネズミ

民間企業の就活をしていたので、面接カード（民間就活ではES）や面接の問答練習についてはそこまでやりませんでした。人事院面接は面接カードをベースに質問がされていくので、どんなことを面接官に聞かれないか、どのエピソードを伝えたら自分の人となりが出るか、をよく考えて（そして友達によく相談して）構成を練るといいです。



キジ

政策討議試験（大卒教養区分・院卒行政区分）

どんな対策をしていましたか？



キツネ

グループディスカッションなどの経験があまりなかったので進行の確認や討議に当たって自分の中で意識することを事前に考えるといったことをしました。課題が事前に出るといった事もないので正直そこまで対策はしませんでした。友人とテーマを適当に決めて討論してみるとかなりいいと思います。

政策課題討議試験は、練習する仲間もいなかった
ので、ネットで概要だけ調べて、特に対策しませんでした。レジュメの書き方や討議で留意する点（言葉の定義を確認する、話していない人に発言を促す、など）を確認していました。

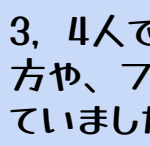


ペリカン

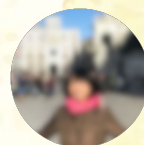


カンガルー

同じ大学の公務員志望の学生と何回か練習をしました。課題に対してペーパーを書く必要がある
ので、分かりやすいペーパーを書く練習をしました。



3, 4人で政策課題討議練習を何度か行いました。レジュメの書き
方や、ファシリテーターの担当を含めた議論の進め方の確認を行
っていました。練習が終わった後で、お互いフィードバックなども
していました。

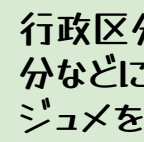


リス



ハリネズミ

あまり準備していませんでした。実際の試験では人の話をしっかり聞いて、何を言いたいのか理解することに努めました。



キジ

行政区分を受ける友人数名と一緒に模擬練習を行いました。時間配
分などについては公開されているので、なるべく本番に近い設定でレ
ジュメを作って議論をしました。レジュメ作成等は意外と時間が足りな
いことに気づくので、一回練習をしておくとうり焦らずに済むと思いま
す。

官庁訪問

カンムリワシ
西表島にて撮影(西表島は2021年世界自然遺産に登録)
環境省のレッドリストに掲載されている



官庁訪問の概要

官庁訪問とは

- 晴れて試験に合格した後は、志望省庁(3つまで)を回り、面接を受けることになります。これが「官庁訪問」というプロセスです。官庁訪問では、自分自身の思いを伝えるのはもちろんのこと、職員の方から業務についてのお話を伺うことができます。将来自分のやりたいことができる省庁はどこなのかを学生の側から見極める、まさに「省庁と学生とのマッチングの場」になります。
- 官庁訪問は例年、6月末の試験合格者発表後から始まります。(2021年度は、最終合格者発表日の翌々日から開始となりました。)また、官庁訪問期間は複数の「クール」で構成されており、それぞれのクールで規定されている数まで各省庁を回ることができます。第5クールでの訪問を以て、晴れて内々定となります。なお2021年度は下図のようなスケジュールで行なわれました。本年度の情報については、人事院のHPをご覧ください。

6月								7月					
23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
第1クール			お休み		第2クール			第3クール		お休み		第4クール	第5クール
3省庁まで訪問可能					2省庁まで訪問可能			1省庁	内々定解禁				

第2クールでは、第1クールと同様の訪問順で各省庁を回っていく必要があります。

(例：第1クールの初日に環境省に訪問した場合、第2クールでも初日に環境省に訪問する必要がある。)

面接の種類

- **入口面接:** 1日のはじめに行われる面接です。
その日どういう話を聞きたいのか要望を聞いてくださる他、簡単な志望動機や自身のこれまでの経験について質問がある場合もあります。
- **人事面接:** 人事担当の職員の方と行う面接で、評価対象となる重要なものです。自身の志望動機やこれまでの経験について、じっくりと深堀りされます。特に環境省では自身の人柄をよく見てくださるので、できるだけ自然体で面接に臨むのが良いでしょう。
- **原課面接:** 実際の職場を訪問し、そこで職員の方の業務について伺うことができます。ここでも、訪問者が聞きたい話について要望を聞いてくださることがあります。お話の中で気になったことはなんでも質問でき、さらには職員の方と議論に発展することもあります。人事面接同様、簡単な志望動機等を聞かれることもあります。
- **出口面接:** 1日の終わりに行われる面接です。
その日の感想について聞かれ、最後にその日の評価を伝えられます。
これで長い1日が終わります。

1日のスケジュールの例

時間	訪問先	内容
9:30-10:00	入口面接	自身の人柄について、環境省という組織についての印象
11:00-12:00	原課面接 課長補佐級	地域の脱炭素・カーボンプライシングについて
13:00-14:00	原課面接 係長級	脱炭素への新技術や地球温暖化対策推進法の改正について
16:00-16:45	原課面接 課長補佐級	環境金融全般に関する議論
18:00-19:30	原課面接 課長補佐級	水俣病や海洋プラスチック問題に関する議論
20:00-20:30	人事面接	自身の価値観について
20:45-21:00	出口面接	一日の振り返り、評価

面接の回数や種類、職員の方の年次は、
内定者の中でも様々でした。

官庁訪問で聞かれた質問内容

入口面接で...

- 他省庁、民間企業と比べた志望度
- 訪問者カードに記載した経験についての深堀り
- 留学経験について
- 環境問題に関心を持ったきっかけ
- 志望動機
- どのような話を聞いてみたいか
- 他省庁の官庁訪問はどうだったか(第2クール)

人事面接で...

- 志望動機についてなぜ地方公務員ではなく国家公務員なのか
- 人生で大切にしていることは何か
- 最近読んだ本と、その面白かった点
- 環境省という組織への印象
- これまでの職員の方のお話の中で印象に残ったもの
- 人生最大の辛い出来事は何か
- 環境省で働く上での不安
- どのような人生プランを考えているか
- (訪問カードに関連して) 10年後の理想の社会を実現するにはどのような施策が必要か
- 卒業論文のテーマについて教えてください
- アルバイトでどんなことを学んだか

原課面接では学生側から質問する機会も多いです！

原課面接で...

- (職員の方が関わられてきた分野で)自分ならどういうことがしたいか
- 何をもって「～問題の解決」と言えるか
(公害や福島原発の問題などについて)
- 国際的な問題について、どのように国際的な解決の枠組みを作れば良いか
- 海洋プラスチックごみを減らすには
- 留学中の経験について、環境省で生かせそうなものはあるか
- あなたならどうやって広報をするか
- 何か質問はありますか

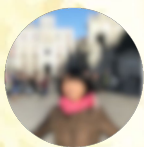
出口面接で...

- 1日の感想、学んだこと
- 次回何を聞きたいか
- 環境省の雰囲気はどうだったか

出口面接の最後に今日の評価を伝えられます！

官庁訪問体験談

官庁訪問で心がけたことは？



リス

- 昨年も事前面談会に参加していたため、この1年間でどう成長し、どう考え方が変わったのかをお伝えできるようにと意識していた。
- 面接が1つ終わったら振り返りを行い、面接中のキーワードなどについて改めて考えていた。

反省！

- 時間を気にして、逆質問をしたくてもできなかった時があった。大体どのくらいの面接時間なのか、事前に聞いておけばよかった。



カンガルー

- とにかく元気に、はきはきと話すこと。(それが自分のカラーだとも思っていたため。)
- 職員の方のお話をメモしながら、気になった部分には軽くコメントを残しておき、いつでも質問できるようにしていた。
- お話を伺いながら、一方で頭では考え続けること。自分が意見を出し、それに対して職員の方から返答をいただいたら、多少それが手厳しいものでも、それを自分の中で吸収してまた意見を再構成するようにしていた。(必死にしがみついていた。)

反省！

- 官庁訪問前日まで詰め詰めのスケジュールで面接準備等してしまったため、第一クール初日に体調が優れず、自分のベストパフォーマンスを発揮できなかった。職員の方とのお話を楽しむためにも、対策はある程度で割り切って臨んでもよかったと思う。
- 面接時間の終わりが分からず、最後職員の方に質問をさせていただく機会を過剰に遠慮してしまった。
- いわゆる「着眼点の良い」質問をしようとしすぎて、自分が「本当にしたい」質問が何かを途中見失ってしまった節があった。



ナナフシ

- オンライン官庁訪問では待ち時間が独りだったので、前の面接を振り返って、自分の伝えきれていないところを次伝えようと整理したり、反省点を出して（自由質問で雑多に質問しすぎたので次は一つのことを深掘してみよう等）次の面接で改善できるようにしていました。

反省！

- 緊張したときに上手く話すことができなかった。



キツネ

- 原課では「お時間大丈夫でしょうか」と逐一確認して時間の目安がわかるようにしていました。
- メモはキーワードだけ書いてなるべく顔を上げてお話を聞くようにしていました。
- 原課での逆質問は事前に考えておいたりはずせず単純に興味を抱いたことを率直に聞くようにしました。

反省！

- 訪問シートに書いていないことについて質問された時に少し冗長に話す感じになってしまった。



ペリカン

- 真剣に聞き、メモを取り、うなずくなど、興味津々に聞いていますという姿勢をアピールした。
- 質問する内容を考えながらお話を聞いた。
- 「こんなにお話を伺える機会なんて二度とない！」と、原課でも人事でも「楽しい！」と自己暗示をかけて元気な笑顔でいることを心がけました。

反省！

- お話を伺った方のお名前がぱっと出てこず焦ったことがあった。その日にお話を伺った人のお名前と部署は必ず常に覚えておくべき。



キジ

- 他の志望者と比べて環境政策に対する理解度が低いことは明らかだったので、開き直ってわからないことや疑問に思ったことはどんどんぶつけるようにしたこと。
- オンラインはメモしやすい環境なので、後で振り返るためにもたくさんメモをした。
- 第二クール以降は第一クールで学んだことと自分なりに考えたことを「自分の言葉」で語ることを心がけた。

反省！

- 第一クールで他の志望省庁の魅力やそれぞれの省庁の長短所を聞かれた時に、しどろもどろな回答になってしまった。質問としては基本中の基本なので、しっかりと言語化して回答を整理しておくべきだった。



ハリネズミ

- 相手の名前を忘れずに覚えておくこと。

反省！

- 質問の内容が漠然としていたように思う。



アフリカゾウ

- 所作や態度、喋り方を丁寧にする。
- 職員の方からお話をいただいた内容は漏れのない様にメモをとること。官庁訪問は多様な年次・所属の方にたくさん会える貴重な機会なので、得た知識や情報はしっかりと保管したかったため。
- 職員の方の目を見て話す／話を聞くこと。
- 時間を気にせず、聞きたいと思ったことや言っておきたいと思ったことは積極的に発言したこと。面接が終わった後、職員の方にエレベーターホールまで送っていただく時も雑談を持ちかけるようにしていた。

反省！

- 丁寧な対応を意識しすぎて、「受け答えが理路整然としすぎて気持ちの部分が見えてこない」「率直な意見を聞かせて欲しい」と言われてしまった。今後、職員の皆さんとは職場で長い時間を共有する以上、面接時にもっと身内に見せるような雰囲気を出すべきだった。
- お話を伺いながらメモをとるのが苦手だったために対面の面接中はメモを取らず後から書き起こしていたが、それだと記憶から抜けてしまう内容があり勿体なかった。

官庁訪問のあれこれ

持ち物

- 面接のために準備したもの
(想定問答集や志望動機を整理したスライドなど)
- 本(暇つぶし用)
- メモ帳、ルーズリーフ
- バインダー
(色々な場所で面接をしていただくので、机がない時に便利！)
- 歯ブラシや目薬(長丁場なのでと助かる)
- ヘアワックスやメイクなど(身だしなみを整える用)

服装

- 白の長袖Yシャツ+黒のズボンorスカートという人が多数派。
- ジャケットやネクタイは着用したい人が着用。
- 職員の方がクールビズで良いと言ってくれるので、ジャケットやネクタイはそもそも持っていかなかった、あるいは一応持って行ったが着用しなかったという人がほとんどでした！

休み時間の過ごし方

- オフライン…面接の振り返りを簡単にした後、他の学生と話していた内定者がほとんど！
- オンライン…音楽を聴いてリラックスしたり、少し散歩に行って気分転換したりなど、各自自由に行動していました！

休日の過ごし方

- アルバイト
- 沢山寝る
- 面接の内容を消化する
- 再度説明会の資料を見返す
- 出かける
- 友人と会い、自分の考えを整理+気分転換
- 体調管理(栄養のあるものを食べるなど)

官庁訪問カード

実際の官庁訪問カードの紹介

2021年度官庁訪問 環境省 訪問者カード（総合職事務系）				
ふりがな			住所	写真
氏名			TEL:	
性別			携帯:	
生年月日	西暦 年 月 日生 (歳)	連絡先	PCメール:	
			携帯メール:	
略歴 (高校以降)	西暦 年 月 月	高校	卒業	
	西暦 年 月 月	大学	学部 学科	
	西暦 年 月 月	大学院	タブから選択	
	(前職があれば)		タブから選択	
試験区分	タブから選択	受験番号 (合格年度)	()	
学業 (ゼミや卒業論文・修士論文の内容等)		課外活動 (部活、サークル、アルバイト等)		
関心のある環境政策の分野		訪問省庁 (訪問順に記載)		
		併願先 (民間企業その他):		
志望動機 (例: どんな点に惹かれたか、入省後に取り組んでみたいこと等)				
あなたは、周りの人からどのような人と言われることが多いですか?				
あなたが他の人に何かを教えるときに心がけていることは何ですか? (具体的なエピソードを含む。)				
あなたがこれまでの人生の中で本気で取り組んだ物事を一つ挙げ、なぜ本気になったのかを述べてください。				
日本や世界の制度・慣行・態度などのうち、あなたが今後10年で大きく変化しそうだと感じるものを一つ取り上げ、それが10年後にどうなっていると予想するかを述べてください。				

カード作成時に意識したこと

- 率直に、ありのままに記入すること
- 文章構成を丁寧に見直すこと (他の人にも見てもらう)
- 書いた内容から自分らしさが伝わるようにすること
- 面接で深堀りしてもらいたい箇所はあえてほかしたり端的な表現にしたりして、面接の際の「フック」を作っておくこと

事前準備

対策スケジュールの一例



ペリカン

のケース

時期	やったこと
大学2年3月	・ 2週間のインターンに参加 → 環境省の雰囲気を知り、志望度を強める
大学3年8月	・ サマートライアルに参加 → 政策立案をはじめて体験した。
9月～	・ 新聞を読み始める。環境に関するものは切り抜いていた。
11月～	・ 説明会に参加。 → 知識の獲得。
2月～	・ 民間就活 → インターンに参加するなど。
大学4年4月～	・ 民間就活の面接が始まる。次々落ちて萎える。
5月	・ 環境省の職員訪問 → 興味のある分野についてお話を伺い勉強するとともに、原課訪問のイメージをつかむ。
6月	・ 訪問カードを書き、先輩や友人に添削してもらう。 ・ 環境白書や環境関連の書籍を読もうとするも、途中で挫折。白書の概要に目を通すにとどめる。

その他こんなことも....



- 大学で受講した授業の復習
- 自己分析
 <開始時期>前年の夏や秋頃に始めた人、官庁訪問の一か月前頃から志望動機を詰めていった人など、開始時期は人それぞれでした。
 <やり方>自分史を作成する、自己分析本を購入する、興味のあることや好きなことを書き出すなど
- 面接練習
 <開始時期>官庁訪問直前期
 <やり方>友人と、予備校で、大学のキャリアセンターでなど
- 友人とのディスカッション
 (環境に関わることで、関わらないことで)

やってよかった！ランキング



1位 自己分析

特に「志望動機」を深めたという人が多い。考え抜いたことで、他の人に対しても納得感を持って話せるようになった、また限られた時間の中で自分がどういう人間なのかを表現できた、質問に対してありのままに答えることができたという声がありました。



2位 政策に触れる (説明会、職員訪問、 新聞など)

最低限の知識があることで、職員の方とも焦らずに話せた、また職員の方へ質問したり、議論したりする際の種になったという声がありました。職員訪問は政策についての知識が増えるだけでなく、実際に質問・議論する練習の場になったという声もありました。



3位 訪問者カード添削、 面接練習

客観的な視点でアドバイスをもらうことで、話す内容や話し方をより良くすることができたという声が多数ありました。自分一人で選考の準備をするのは大変ですし、自分では気づけない思わぬ発見も多くあると思います。

番外編：環境政策や環境法の 役割について考える

環境省に事務系職員として入省すれば、社会にインパクトを与えるツールとして政策や法律を扱います。環境政策や法律の存在意義・役割について自分なりに意見を持っておくことで、職員の方のお話を伺ったり議論したりする際の思考の土台を整えることができ盛り上がる、という意見も！

官庁訪問こぼれ話

- 昨年も面接した方が、自分のことを覚えていてくれた。
- インターンでお世話になった職員の方と再会した。
- 強い関心を持っている法律の改正に携わった職員の方と議論できた。
- 米国留学中の職員の方とオンラインで面接をした。
- 職員の方々が語る環境省のミッションと自分の志望動機が一致し、そのミッションをきいて志望動機が洗練され、志望度が高まった。

座談会

十和田八幡平国立公園に位置する城ヶ倉大橋から望む日の入り
青森県青森市にて撮影



トークテーマ1：インターンなどの経験



メンバー



ペリカン ♀



ナナフシ ♀



カンガルー ♂

＜インターンってどんな感じだった？＞



カンガルー

まず、インターンの概要について教えてください。



ペリカン

私がやったのは二種類で、2年生の終わりの春休みに二週間環境省の地球環境局国際連携課でインターンをしました。インターンでは学生向けに特別なプログラムがあるわけではなくて、そのタイミングで受け入れ課の職員の方が実際に担当されている業務をお手伝いさせていただきました。国際連携事業の集計・分析やゼロカーボンシティのホームページの更新など、毎日色々なことを経験させてもらいました。3年生の夏には、サマートライアルっていう政策シミュレーションに近い感じのに参加しました！



カンガルー

ナナフシもサマートライアルに参加したんだっけ？



ナナフシ

はい！私が参加したのも三年の夏のサマートライアルで、ペリカンと同じものです。二日間オンラインで、政策シミュレーションを班ごとでやりました。他には環境省の説明もありました。北海道のある会社の職員の方とテレビ電話で話したりもしました。



カンガルー

サマートライアルは人数規模はどのくらいだった？



ペリカン

30人ぐらいだったかな？

＜どうして参加した？参加してよかったことは？＞



カンガルー

なるほど。二人が参加した理由と行ってよかったなっていう事とかはある？



ペリカン

私はもともと環境省への志望度が高かったので、両方とも環境省の職員の方が実際に仕事をどんな感じでやってるのか知りたくて参加しました。インターンの方については、説明会と違ってやっぱり直に職員の方の働き方を見て、自分も机と椅子をもらっていろいろ経験できたっていうのは貴重な経験だったなと思います。サマートライアルは、政策シミュレーションの機会が今までなかったのでそういう機会があったのはよかったし、他の人の考えにも触れることができたのはよかったです！



カンガルー

ナナフシはどう？



ナナフシ

きっかけは私もペリカンと同じで環境省に興味があったことが大きいです。それと、3年生の夏は就活でみんなインターンに行くのかなと思って参加しました。行ってよかった点は、実際にやっている仕事の内容を詳しく知れたことです。洋上風力とか水素の蓄電池がテーマだったんですけど、実際にその関連の業務についてオンラインで見学できたことがよかったと思います。あと政策シミュレーションで職員の方からフィードバックをもらえたっていうのはすごい勉強になりました。



ペリカン

サマートライアルの時期はコロナの影響で実家にいたのでオンラインで参加できたのはすごいありがたかったです。それに、北海道とか遠くにいる職員の方ともお話しできるのはオンラインならではのなと思いました。



カンガルー

ペリカンはインターンでお世話になった職員の方と官庁訪問で再会したりした？



ペリカン

あったあった！インターンでお世話になった方に原課面接をしてもらってインターンで関わった業務がその後どうなったかとかそういう話をしてもらった！



カンガルー

繋がりがある人がいると安心するよね。

トークテーマ2：オンライン官庁訪問



メンバー



キツネ♂



リス♀



ハリネズミ♂

<どのクールでオンライン/対面だった？>



キツネ

まずオンラインがそれぞれ第何クールまでだったかみたいな話をしたいです。

自分は第1、4クールだけオンラインで、後は対面でしたね。

第4クールはみんなオンラインという形だと思うんですけど、まずハリネズミはどうでした？

※2021年度の官庁訪問第4クールは全員オンライン。



ハリネズミ

キツネと同じで第1、4クールだけオンラインであとは対面だね。



キツネ

リスは？



リス

私は、第1クール、第2クール両方ともオンラインでした。第1クールの終わりに採用担当の方に、第2クールはオンラインオフラインどちらがいい？と聞かれて、オフラインにしていたんですけど、その後のメールでオンラインにしてくださいって連絡をもらいました。



キツネ

あ、なるほど。確かに自分も希望聞かれて対面がいいって言ったんですけど、ハリネズミもそれは聞けましたか？



ハリネズミ

聞けましたね。どちらがいいですかって。それで対面を希望した感じ。



キツネ

まあそうですね、呼んでいただけるなら対面でってなりますよね。

<服装はどうしてた？>



キツネ

オンラインと対面時の服装はどうしました？

暑いからジャケットなしでいいよと言われたと思うんですけど、オンラインってことで自分が気になったのは、オンラインだと自分を見てもらえる範囲が少ないから、カチッと見せた方がいいのかなと思ってジャケット着ようかな～とかちょっと迷ったんですけど、なんかお二人はオンライン、対面で服装変えたよみたいのあります？



ハリネズミ

オンラインの時はジャケットを着てました、やっぱり。



リス

えらいですね！



ハリネズミ

でも対面時は着てなかったですね。



リス

私は、クーラーつけたなくて。



キツネ

クーラーの雑音が入っちゃったりするからとか？



リス

とか、あと普通にクーラー好きじゃないっていうのと、まああまり関係ないけど環境省だし…クーラーつけたくないなって（笑）。ジャケット着ちゃうと暑くなるんで、そういう面でも脱いでました！

でも、対面の時は確か一応持っていていました、てか着ていましたね。あと女子ならではなんだと思うんですけど、オンラインの時はずっと下見えないんでズボン履いたんですよ。対面ってスカートの方がいいのかなと思ってスカート履いていたら、私以外全員ズボンでした。そのへん気にしないでいいんだ～って思いました。

<待ち時間の過ごし方：オンラインと対面の違い>



キツネ

オンラインの待ち時間も長かったし、対面の待ち時間もそれなりに長かったと思うんですけど、まずオンラインの官庁訪問では待ち時間に何をしていましたか。

自分は、オンラインでも本当に神経すり減らしたというか、精神的にも疲労してたので、髪とか崩さないようにしながらベッドに寝っ転がってスマホは肌身離さず持って、なるべくリラックスするようにしていました。



ハリネズミ

オンラインだから特別これをしてた～、ってことはなかった。ゴロゴロしていたというか。あとなんとなく、面接中に「こういう話あったな」ってことを覚えておいて、ちょっとそれについて調べてみるってことくらい。



キツネ

確かに、調べたりとかは流石にしますよね。そしたら、基本はゆっくりしていた感じですね。



ハリネズミ

そうですね。でもなんだかんだで疲れますよね。



キツネ

たしかに。さすがにオンラインとはいっても…。リスはオンラインの待ち時間、どうでしたか。



リス

あまりゴロゴロした記憶はなくて。それこそ聞かれたことの反省とか、考えたこととか書いて、ここキーワードだったなってことをチェックしてました。あとは情報何かないかなと思って携帯いじってました。



キツネ

じゃあ割とゆっくりとはせず、って感じで？



リス

実はあまり覚えてない（笑）。本を読もうもとしたけど全然集中できなくてって感じだった。対面のみんなは、待ち時間何していたんですか？



キツネ

自分の参加した第2クールの初日は割とみんなずっと話してましたね自分は割とおとなしくしてました。他の人は、緊張ほぐしたり、情報交換などで他の人と話したりしていた気がします。

＜来年に向けてのアドバイス＞



キツネ

これから官庁訪問をする人たちにアドバイスは何かありますか？



ハリネズミ

自分が楽なように…ってのを追求した方がいいかな、と思います。過ごし方とか。やっぱりオンラインでも疲れるんで。



リス

あとオンラインでも対面でも、ちょこっと食べられるものがあるといいですね。



キツネ

自分はゼリー飲料とか栄養補助食品とかは本当に愛用してました。あとラムネ食べてました。ブドウ糖いいかなと思って。



ハリネズミ

ぼくもパンとか食べてました。何々バー的な。ガツンとくるものは避けてました。



リス

オンラインのときのお昼は、冷凍食品食べてました。パッとできてパッと食べられるから。それとオンラインの官庁訪問中に何か不安に思ったら、すぐに職員さんに連絡して全然大丈夫だと思います。1人で悩んでいてもどんどん不安になるだけですからね！

トークテーマ3：海外留学経験と環境省



メンバー



キツネ♂



アフリカゾウ♀



キジ♂

＜留学の国、勉強したこと、時期＞



キツネ

留学した国、時期、勉強したことについて簡単に教えてください。



アフリカゾウ

フランスのリールっていう北部の町です。時期は、2019年9月～2020年3月で、本当は10月まで行く予定だったんだけど、コロナで留学が中止になって帰ってきました。



キツネ

アフリカゾウは学部で環境法の勉強をしてたはずだけど、留学先でも環境法系の勉強した？



アフリカゾウ

いや。学部は環境法なんだけど、サークルで政治とか外交、国際問題をやっていたので、留学してもっと専門的にしっかり勉強しようかなって思って、向こうでは欧州政治学について勉強してました。



キツネ

あえて環境法から離れて、別のことをせっかくだから勉強したって感じか。なるほど。ありがとう。キジはどのタイミングで留学した？



キジ

学部3年の9月から1年間の交換留学で行ったね。場所は、トルコの 이스タンブールのボアジチ大学でした。関係ないけど、トルコにいるときに日本代表の長友選手が 이스タンブールのチームに移籍してきて、サッカーが人気のトルコではすごく盛り上がってた時期だった（ユニフォームも持ってるよ笑）。



キツネ

勉強した内容は？



キジ

中東の政治思想、政治制度、民族紛争とかにも興味があった。所属の大学では中東に関する講義や先生があまり多くなく、ゼミも当時は無かったので、現地に留学して学びたいなと思ってた。



キツネ

2人とも環境には関係なく勉強していて、とくに志望理由に繋がってないよね。



キジ

確かに、必ずしも環境問題には繋がってないけど、もともと中東に興味を持ったのは、戦争、難民、人権の視点とか社会課題に興味があったからなんだよね。社会課題の一つとして環境問題は認識していたので、そういう繋がりはあるかもしれない。僕の場合、官庁訪問を通じて、環境問題について深く知りたい、取り組みたいと思うようになった。

<留学と就活>



キツネ

アフリカゾウは帰ってきたのが4年の直前？ということは就活は、周りと比べて遅れてって感じか。留学をしながらの就活で大変だったことある？



アフリカゾウ

私は長く海外にいるつもりで、5年生で就活のつもりだった。留学中は公務員試験の勉強するつもりもなかったし、帰ってからやろうと思っていた感じ。なので、留学時に何か不安があったということとはなかったし、民間就活に対する焦りもなかったんだけど、これが不安として具現化したのは、コロナ禍になってからかな。コロナ禍で4年生で帰ってきて、この状態だと4年で卒業になってしまう。そうなったら、もともと考えていた勉強のスケジュールもくるってしまうし、念のための民間就活もしなくてはいけないってなったときはさすがに焦った。



キツネ

確かにそれは焦るね。留学にこれから行く人とか行っている人に就活に関してアドバイスはありますか？



アフリカゾウ

2つある。まず、民間就活をやるなら、留学生用の就活プラットフォームがあるのでそれを利用することかな。この就活プラットフォームで民間就活を終わらせてから、公務員試験に臨むってのはおすすめ。ここでは、普通の民間就活よりも、就活の期間がすごく短いし、そんなに準備しなくても、ある程度内々定とれると思う。2点目は、公務員試験をがっつりやりたい人向けのアドバイスだけど、私は行く前に、帰ってから何をどのくらいの時期で勉強するのかの計画は立てて、そのうえで、帰ってから間に合わないような、数値処理の判断推理とか、時間かかる科目は留学先に持って行って勉強し始めていた。逆算した上で、向こうでやる勉強、こっちでやる勉強は考えておいた方がいいと思います。



キツネ

なるほど。キジは、学部卒のときは、最初から院いくつもりだった？就活はしなかったの？



キジ

実は留学中は、留学生活を目一杯楽しんでたから、就活や大学院をどうするかはあまり考えてなかった。もともと、学部を5年間過ごすって決めていたから、そういう意味ではのんきだったかな。留学帰ってきてからは、民間就活を始めたけど、その年の冬には大学院に行きたいなって思って、完全に切り替えてた。



キツネ

逆に、やっぱりしっかり4年で就活終わらせようと思うとしたら、留学中もその準備はした方がいい？



キジ

うん。実際、大学の友人で、4年で交換留学しながら就活も終えている人達は、留学生用の就活プラットフォームとかを使って計画的にしてたかな。特にコロナ禍で、オンラインになっててそういう就活のプラットフォームを使うハードルが下がっているから、活用して損はないと思う。

<留学経験を経て環境省ではどういうことをしていきたい？>



アフリカソウ

海外を視野に入れた活躍をしていきたいかどうか、というテーマは面白いかも。



キツネ

これからのってことだね？先をみだ目線いいね！



キジ

それと言うと、自分はもちろん国際的な業務とか世界の枠組みを作っていくことにも興味はあるけど、一方で、地方に関しての興味も官庁訪問を通じて湧いたし、中東とか海外にばかり目が向いていたからこそ、国内や地方への関心が今は強くなってるかな。面接でも、脱炭素ロードマップの話とかがすごく印象に残ってて、地方で次世代の社会を作る際に脱炭素の視点をどう盛り込んでいくか、というところに今は興味持ってる。



キツネ

海外行ったからこそ、国内にという視点は面白い。



アフリカソウ

私は結構半々。国内の環境法ばかり勉強してたこともあって、最初は現場密接な地方思考が強いタイプだった。環境問題は、その土地単位で起きるものだから、そこに目をむけない限りは、法政策とか作っても実効力のないものになってしまうと思っていて。でもやっぱり自分のやりたいこととして、海外に住みたいというのがあって。それは、世界の潮流の中で環境問題が進展してきているからそこにアンテナを張りたいというもあるし、外から環境省や環境政策を見ることによって、内部から良くなっていくこともできるから。あと、自分が面白いと思っている欧州の政策スタイルの研究もまだしたい。留学も環境法の留学でもう一回ちゃんと欧州に行きたいと思っていて。だから、両方やっていきたいという感じで考えています。

編集後記

最後まで「内定者の声」をお読み下さりありがとうございました。
本冊子を通じて皆さまの環境省に対する理解が少しでも深まり、興味関心を抱いて頂けたら、内定者一同大変嬉しく存じます。

さて、本冊子はコロナ禍で変化した官庁訪問などについて過去の「内定者の声」の内容をアップデートしつつ、志望者の方のお力添えになるような内容を目指して作成いたしました。環境行政や霞が関をめぐる様態が大きく変動する今、私たちが環境省を志した思いや準備について知っていただき、皆さまご自身の判断や日々の勉強の助けとして本冊子を活用して頂ければと思います。なお、奇遇ながら令和4年度の内定者は全員都内の大学の出身者であるため、一部拾いきれていない情報もあるかと存じます。是非、過年度の「内定者の声」も合わせてご参照ください。

そして、環境省についてもっと知りたい！と思われた方は、是非環境省ホームページやパンフレット、各種 SNS をご覧いただければ幸いです。環境省の所掌業務のみならず先輩職員の方々の思いも知ることができ、皆さまの視野を広げる良い機会となるでしょう。

それでは、内定者一同、説明会や座談会ひいては官庁訪問にて皆さまとお会いできることを心より楽しみにしております。

令和4年度環境省総合職事務系内定者一同

[注意]

- ・本冊子の記載事項は、内定者の私見に基づくものであり、環境省の意向を反映させたものではありません。
- ・本冊子に使用しました写真素材およびイラストは、内定者が撮影した写真ならびに各種フリー素材を使用しました。



環境省
Ministry of the Environment

令和4年度 環境省総合職事務系内定者